

校内研究計画

1 研究主題

主題：自らの思いや考えを発信できる児童の育成
～書くことと話す・聞くことを関連させた国語科の授業づくり～

2 主題設定の理由

- (1) 教育目標「笑顔でかかわり合いながら、伸びる児童の育成」の実現
- (2) 児童の実態から
 - ① 書くこと・話すこと・読むことを苦手とする児童が見られる。
 - ② 音声言語による短期記憶が苦手である。
 - ③ 市学力調査国語では、全ての領域で、市平均を下回っている。「書くこと」が特に低い。
- (3) 今日の課題から
 - ① 他者と対話しながら、協働してよりよい課題解決を行うことのできる力が求められる。
 - ② 正しく、適切に情報を発信できる力が求められる。
 - ③ 主体的に学びに向かう態度が求められる。



培った語彙力をもとに、自分の考えをまとめ、それを表現し、他者と交流する活動を行う。

3 研究の仮説と内容

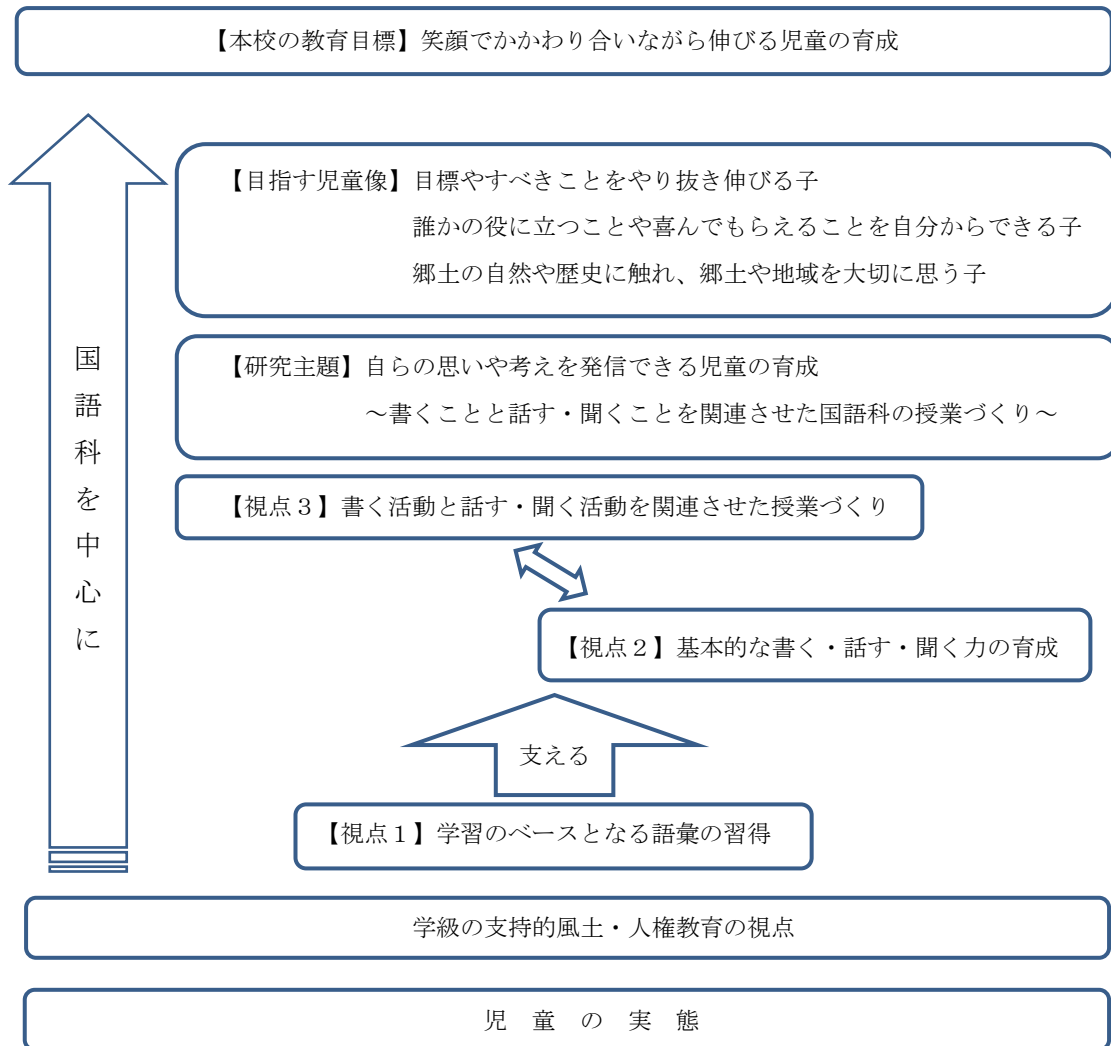
仮説 書く活動と話す・聞く活動を関連させた授業作りをすることで、児童は、自分の考えを持ち、表現することができるようになる。

視点1 「学習のベースとなる語彙の習得」
反復練習やドリル学習などで、学習のベースとなる語彙を習得させる。

視点2 「基本的な書く・話す・聞く力の育成」
反復練習や型の提示・習得により、基本的な書く・話す・聞く力を育成し、それぞれの力の日常化を図る。

視点3 「書く活動と話す・聞く活動を関連させた授業づくり」
1単位時間の授業の中に、書く活動と話す・聞く活動を位置づけ、その関連を図る。

4 研究の構想図



5 研究の実際

(1) 視点1「学習のベースとなる語彙の習得」について

反復練習やドリル学習などで、学習のベースとなる語彙を習得させる。その方法を試行し、検証を図り、効果のあったものを共有する。

① 漢字練習（授業及びスキルアップタイム、家庭学習）

授業の中に、漢字習得・定着の時間を位置づける。また、スキルアップタイムや家庭学習で漢字練習に取り組む。

② 詩『日本語好きだ検』の音読と暗唱（朝・帰りの会及び家庭学習）

各学年の「学びノート国語」に掲載されている『日本語好きだ検』の音読と暗唱に取り組む。

③ 視写（スキルアップタイム）

スキルアップタイム国語の時間に、文章の視写に取り組む。

④ 辞書の使用（授業）

辞書の引き方を確認し、学習の中で積極的に使う習慣をつけさせる。

⑤ 小学生新聞の活用（図書時間）

図書時間を利用して、小学生新聞に親しむ機会を設ける。

（2）視点2「基本的な書く・話す・聞く力の育成」について

反復練習や型の提示・習得により、基本的な書く・話す・聞く力を育成し、それぞれの力の日常化を図る。その方法を試行し、検証を図り、効果のあったものを共有する。

① 短作文・日記【書く】（授業及び家庭学習）

作文単元及び家庭学習において、短作文に取り組む。

② ノートまとめ【書く・聞く】（授業）

ノートや学習シートに、自分の考えを書く。また、聞き取った他者の考えも書く。

③ 音読、朗読、群読【話す】（授業及び家庭学習）

授業及び家庭学習において、音読に取り組む。その延長として朗読や群読も試みる。

④ スピーチ【話す・聞く】（授業及び朝・帰りの会）

スピーチ単元及び朝・帰りの会等において、短スピーチに取り組む。

⑤ テーマトーク【話す・聞く】（スキルアップタイム及び朝・帰りの会）※ 5頁参照

スキルアップタイム及び朝・帰りの会等において、定期的にテーマトークに取り組む。

⑥ 聞き取りテスト【聞く】（評価テスト）

聞き取り単元のテスト及び日常のミニテスト等において、聞き取ったことを書く取り組みを行う。

（3）視点3「書く活動と話す・聞く活動を関連させた授業づくり」について ※ 4頁参照

1単位時間の授業の中に、書く活動と話す・聞く活動を位置づけ、その関連を図る。その方法を試行し、検証を図り、効果のあったものを共有する。

① 話し合い

② 討論、ディベート

③ プレゼンテーション

④ 意見・感想交流 等

6 研究内容の検証

（1）市学力検査結果【国語科】

熊本市学力検査国語科の結果を、昨年度比で検証する。特に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域において。

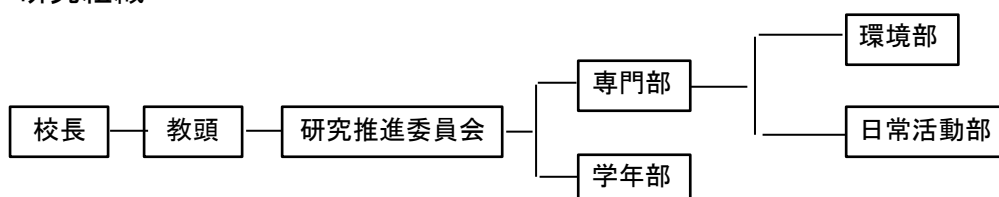
（2）検証授業（大研・中研）

研究授業における児童の表現力（書く・話す・聞く）をみとり、検証する。

（3）アンケート（児童）

国語の学習に関するアンケートを2回実施し、その結果を比較し検証する。

7 研究組織



※ 視点3「書く活動と話す・聞く活動を関連させた授業づくり」について（授業展開例）

(1) 目標

叙述に即して想像を広げ、物語のしかけについて考えることができる。

(2) 本時の学習

時間	視点	主な学習活動	指導上の留意点及び評価 ☆…評価	教具等
3	語彙	1 反復練習で、語彙を増やす。 (1) 漢字ドリルの音読 (2) 辞書引き	・導入は、漢字の読みや熟語、部首等を声に出して音読することで、授業への気持ちの切り替えを図る。 ・辞書引きへの抵抗感を和らげる。	ドリル 辞書
10	話す・聞く	2 物語にしかけがあることを知る。 (1) 美月の容姿を思い起させる。 (2) 美月の姿を提示し、気づいたことを出し合う。	・教科書は伏せた状態で、美月の容姿を想起させ、ウサギにつながる言葉を出させていく。 ・本文にも美月がウサギだと分かるヒントがあることにつなげる。	美月の絵 ウサギの絵
美月がウサギだと分かるヒントを探そう				
25	書く ↓ 話す・聞く	3 本文の中からヒントを探す。 (1) 第七場面を斉読する。 (2) ヒントを見つけ、短冊に書く。 (3) 見つけたヒントを発表する。 (4) ヒントとなる理由を交流する。 ・ペアで話し合う。 ・全体で交流する。	・美月がウサギであることを本文で確認する。 ・全員で一文読みを行い、全員参加の体制を整える。 ・本文に、美月がウサギだと分かるヒントが複数あることを確認する。 ・自力解決の時間を十分にとる。 ・最初に、見つけたヒントを全て出し合わせる。 ・理由を考えさせる中で、ヒントとしての妥当性を検討させる。	デジタル教科書 短冊
7	書く	4 本時の学習をまとめる。 (1) ヒントについて、自分の考えをまとめる。 ・ヒントをひとつ選ぶ。 ・選んだ理由をまとめる。	☆ 美月がウサギだと分かるヒントを見つけ、その理由を考えることができる。【読む】(短冊記述、発言) ・教科書「言葉の力」を読み、物語のしかけについて確認する。 ・複数のヒントの中から、一番おもしろいと感じるヒントについて、自分の考えをまとめさせる。	ノート

※ 視点2-⑤「テーマトーク」について

【日 時】 ① 下記のいずれかの時間に取り組む。

・スキルアップタイム（国語） ・朝の会、帰りの会 ・授業（国語、学活等）

② 週に1回は取り組む。

【場 所】 ① 各教室

【方 法】 ① トークの形態は、ペアまたはグループ（3～4人程度）

② ジャンケンで話す順番を決める。

③ 話す時間は、一人1分程度。

④ テーマは、下記の例を参考に、学級の実態に応じて決める。

⑤ 場合によっては、サイコロなどを使ってテーマを決めるなど、工夫する。

⑥ 聞く側の約束事を指導の上で取り組む。

【留意点】 ① 相手の話を肯定的に受け止め、しっかり聞く態度を身につけさせるため、以下に示す聞く側の約束事を徹底する。

きくひとのやくそく

○ うなずいたり、あいづちをうったりしよう。

「うん、うん。」「なるほど。」「そっかあ。」

○ あいてのかおをみて、はなしをきこう。

○ やさしいきもちで、はなしをきこう。

○ あいてのはなしがおわったら、しつもんやかんそうをつたえよう。

【話題例】 ① 好きな○○は何？

・スポーツ ・食べ物 ・果物 ・おやつ ・色 ・形 ・テレビ番組 ・教科
・本 ・場所 ・国 ・動物 ・乗り物 ・季節 ・昆虫 ・天気 等

② ○○と△△は、どちらが□□？

・大人と子どもはどちらがよいか ・男性と女性はどちらがよいか

・夏と冬はどちらがよいか ・山と海どちらで遊びたいか

・給食とお弁当はどちらがよいか ・1年生と6年生はどちらがよいか。 等

③ ○○したら、△△？

・5千円もらったら、何に使うか ・まほうが使えたら、何をするか

・無人島にもっていくなら ・校長先生になったらやりたいことは

・ドラえもんをお願いするとしたら 等

④ ○○○こと

・今、はまっていること ・ならいごと ・うれしい言葉 ・やりたいこと

・がんばっていること ・楽しかったこと ・○○さんのいいところ 等

※ 「サイコロトーク」「フリートーク」で検索・参照

